

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月23日

計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上（その3）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	茅ヶ崎市											
計画の目標	浜見平団地の建替に伴い、緑地、道路の整備を行い、生活・防災拠点として安全・安心なまちづくりを行う。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	665	A	665	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	松尾川の緑道化整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：39% 70%） 松尾川雨水幹線の暗渠化及び緑道化を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。	39%	50%	70%
2	左富士通り及び鉄砲道の電線地中化及び道路整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：42.1% 70%） 左富士通り及び鉄砲道の電線地中化及び道路整備を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。	42%	50%	70%
3	左富士通り片側歩道部を両側歩道として整備し、歩道整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：36.9% 50%） 地区内の主要道路である左富士通りの片側歩道箇所の用地買収を行い、両側歩道として整備する。整備に関する満足度アンケート調査を行う。	36%	40%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	-	-	浜見平地区住宅市街地総合整備事業	緑道化697m、電線地下埋設537m、道路整備290m、用地買収72.7m2、物件補償2件	茅ヶ崎市						665		-	
												小計						665		
											合計						665			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	16	15	10	18	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	16	15	10	18	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	16	15	10	18	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上（その3）

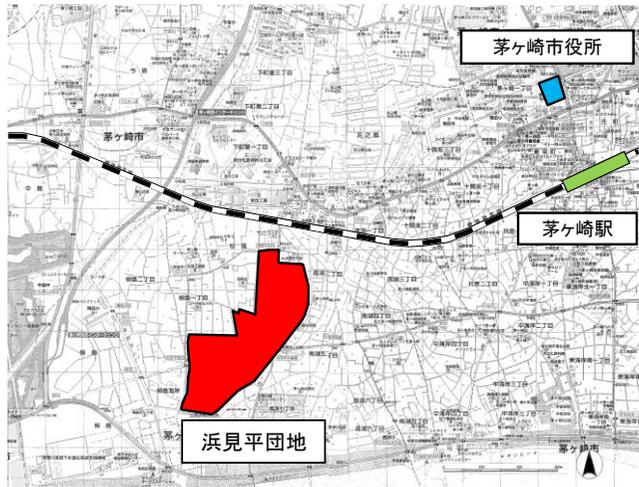
事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 総合計画及び都市マスタープランへの位置づけがある。	○
I. 目標の妥当性 2) その他の計画への位置づけがある。(浜見平地区まちづくり計画・浜見平地区デザインガイドライン等)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 松尾川雨水幹線の緑道化の整備	○
II. 計画の効果・効率性 2) 電線地中化の整備	○
II. 計画の効果・効率性 3) 幹線道路及び歩道の整備	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 少子・高齢化社会への対応を図っている。(バリアフリー化の実施)	○
II. 計画の効果・効率性 2) 広域防災拠点としての対応を図っている。(緑道・道路等の整備)	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高く、住民等の合意形成を踏まえている。	○
II. 計画の効果・効率性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施にあたり、都市再生機構との協議を行い、連携を図っている。	○

(図面) 地域住宅支援

計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上 (その3)		交付対象	茅ヶ崎市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)			

【浜見平地区】



凡例	
	基幹事業
	団地建替範囲

